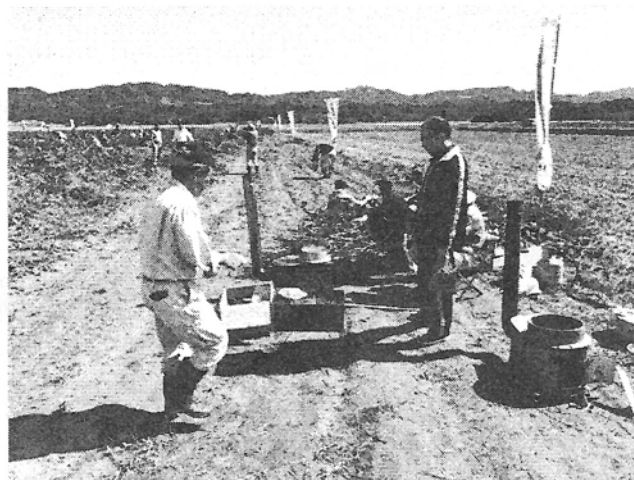


角田市議会議員 黒須とおる 後援会だより 第3号

平成 29 年 11 月 1 日発行 黒須貴後援会事務局 TEL0224-62-0241 後援会内部討議資料



作柄視察 副市長、農政課職員とともに農家を
訪ね、作物への長雨の影響などをうかがう



グリーンファイブ ひでん豆もぎとり体験
多くの人が訪れ大盛況 生産拡大の可能性を探る

〈報告 黒須とおるが活動してきたこと〉

①議会での質疑・一般質問など

大震災後の角田市の教育について（3月）

市内全小中学校にアンケートを実施。その結果を踏まえ、大震災直後に誰もが思い知った「協力する大切さ」「家族の大切さ」「命の大切さ」「防災の大切さ」が角田市の教育に生かされているか問いました。各学校の特徴を考慮しながら学校教育の中で生かされている様子を知ることができましたが、一方で、震災当時の記録がほとんど残っていないこともわかりました。また、災害から子どもを守る体制づくりを要望し、前向きな回答を得ました。

角田市の林業政策について（3月）

森林の放射性物質汚染、ナラ枯れ対策について問いました。県の放射性物質モニタリング調査を誘致したことを紹介し、シイタケ用ホダ木出荷再開とナラ枯れ拡大を止めるために、雑木林をいちど伐りたおし、伐り株から新しい芽を出させる萌芽更新をすすめることを提案しました。結果30年度から対策がとられることとなりました。

角田米の魅力ある価値の創造について（6月）

道の駅の開業を見すえ、角田の安全でおいしいお米を価値ある「かくだ米」として戦略的に販売することを提案しました。一方、農村で育まれる協力し助け合う暮らしや、伝統文化などを、大切なものとして継承していくことが、これからの角田市に必要と指摘しました。

災害発生時を想定した避難訓練の実施について（6月）

水害ハザードマップが新しくなったことから、水害に特化した避難訓練の必要性を強く指摘しました。加えて「氾濫水位予測の見える化」を提案しました。これらが水害を想定した角田市防災訓練（9月開催）、氾濫予測水位看板設置計画に生かされました。

角田市の防災について（水害・北朝鮮ミサイル対策について）（9月）

角田市防災訓練（9月）の反省点を問いながら、防災行政について、再度問いました。枝野地区の水害対策について、排水諸施設対策の進み具合を質しました。また、災害発生時の市街地で特に大切だと思われる学校・福祉・医療との連携を、常に訓練しておくことが重要であることを指摘しました。さらに、北朝鮮ミサイルに対する対応を質し、防災無線の整備と、各地区にある消防用サイレンの活用を提案しました。結果、先ず市役所のサイレンを活用することから始めることとなりました。

② 普段の活動など

- ・角田市島田生産森林組合さんと協力し、放射性物質モニタリング調査を誘致しました。
- ・長沼地区の集会の折に、議会報告をさせていただきました（10/3）。たくさんの貴重なご意見と、パワーをいただきました。
- ・農事組合法人グリーンファイブえだのさん（枝野5区）「ひでん豆もぎとり体験」（10/1）をお手伝いさせていただきました（写真掲載）。
- ・大森山ライトアップをころみました。お盆には大文字、その後は鳥居をデザイン。
- ・道の駅直売施設出荷者協議会に、生産者として参加し意見していきます。条件付きながら、事業に賛成した者の責務として、成功に向けはたらきかけをしていきます。
- ・その他 人口減少・少子高齢化対策、協働・地域自治について、会派等で調査研究中！

〈課題 黒須とおるが今とり組んでいること〉

大きな課題の一つが防災です。現役の消防団員としての役目でもあります。角田市で心配な自然災害は水害です。ときに大きくあばれる阿武隈川。山に囲まれた盆地で水が集中する地形。角田の歴史は治水の歴史です。現在、国や県に堤防や排水機場の整備をはたらきかけて、進みつつあります。一方、異常気象があたりまえになってしまった今日では、もしもに備えることもとても大切です。一番は、余裕をもって安全なところに避難することです。それには、普段からの準備、近所との助け合い、そして訓練が大事です。地区や区単位の自主防災組織がきちんと動けるようにしておきたいものです。市には「防災安全課」があり、防災組織や避難訓練のことなどを指導しています。その地区に合った防災を住民と共に考え実現するよう、はたらきかけていきます。

〈編集後記〉天災は忘れる前にやってくる！防災が課題だと書いた矢先の10/20に台風が直撃。限東の山沿いが大きな被害を受けました。お見舞い申し上げます▼発行の遅れをお詫びします（貫）